

市原 清志 (1950年5月生まれ：大阪市)

学歴・職歴

1969年 3月 大阪府立北野高等学校 卒業
1975年 3月 山口大学医学部 卒業
1979年 3月 大阪大学大学院 医学研究科 博士課程修了
1981年 4月 大阪大学講師 医学部 (臨床検査診断学)
1982年 1月 Berson 研究所 (New York) Yalow RA 博士の指導で消化管ホルモンの研究
1992年 1月 川崎医科大学助教授 (検査診断学) (~1983年8月)
2002年 4月 川崎医療福祉大学教授 (医療情報学科：兼任)
2002年 4月 山口大学教授 (医学部保健学科病態検査学)
2004年 4月 山口大学大学院教授 (医学系研究科保健学系学域生体情報検査学)
2013年 4月 同上、領域長
2016年 4月 山口大学名誉教授、山口大学大学院同上、特命教授
2018年 7月 (株)医学統計研究所 代表取締役
2021年 4月 山口大学大学院医学系研究科 学術研究員～現在に至る

専門分野

臨床検査医学、生物統計学、臨床疫学、情報科学、内分泌学とくに甲状腺疾患

主な学会活動

1991~2008 日本アイソトープ協会、医学薬学部会インビトロ専門委員会委員(統計・評価担当)
1994~2008 日本医師会 精度管理委員会 委員(統計・評価担当)
1997~2016 日本衛生検査所協会 精度管理委員会 委員(統計・評価担当)
2003~2008 国際臨床化学連合(IFCC) 血漿蛋白委員会(C-PP)委員
2004~2018 IFCC機関誌(Clin Chem Lab Med) 編集委員会委員
2007~2014 英国臨床生化学会・日本臨床化学会共同編集国際誌(Ann Clin Biochem) 副編集長
2007~2016 アジア太平洋臨床生化学連合(APFCB) 科学委員会 委員長
2010~2015 国際臨床化学連合(IFCC)、基準範囲・判断値委員会(C-RIDL) 委員長
2010~2012, 2014~2015 日本臨床検査医学会 EBLM 委員会 委員長
2020~ 米国臨床検査標準化委員会(CLSI), 基準範囲設定指針 改訂委員会 委員

研究テーマ(現在)

- 1) 大規模国際比較調査による、臨床検査基準値の変動要因の解明
- 2) 基準範囲設定に関する統計理論の体系化と汎用的なソフトウェアの開発・普及
- 4) データサイエンス視点に基づく、多変量解析の実践的理論の体系化
- 5) 健康危険度調査に基づく、健診後の効果的な生活指導システムの構築

主な著作

- ・バイオサイエンスの統計学、南江堂、1990
- ・ビジュアル統計ソフト「StatFlex Ver. 1～7」、医学統計研究所、1990～2019
- ・エビデンスに基づく検査診断実践マニュアル、日本教育研究センター、2011
- ・新版カラーイメージで学ぶ統計学の基礎、日本教育研究センター、2014～2016

特技

- ・プログラミング: C, C++, C#, PHP, R, Visual Basic, HTML, Latex
- ・英語検定: TOEIC 965 (2007/03) ・山スキー (日本3大雪渓滑降 1980年夏)
- ・長距離走: 京都シティハーフ 94' 19" (2004/03)